

「高齢者雇用安定法改正への対応」

北労生会員の活動紹介

王子製紙新労働組合苫小牧支部

(〒053-0027 苫小牧市王子町 2-1-1 TEL0144-32-0180)

王子製紙新労働組合は全国に13支部5分会4,583名で構成されています。苫小牧支部は789名と最大の組合員数で活動を行っています。現在は唯一の新聞用紙工場として国内シェアの30%近くを生産しています。しかし、2009年以降から新聞紙需要の減少が続いており、新聞紙事業からの転換が工場生き残りに向けて大きな課題となっています。社内活動では王子イーグルスアイスホッケー部が主な活動になりますが、過去には40以上の部活動がありました。現在もスポーツや文化活動を通じて、OBの皆様も含めて数多くの組合員が指導者として地域のために活躍していただいております。

いま苫小牧支部にとっての大きな課題は人員問題です。新規採用の厳しい状況下において、毎年数十人規模での定年者が続いており、60歳からの継続雇用制度を導入して対応していますが、職場によっては高温、多湿の作業環境もあり、3直交代勤務での深夜勤務は肉体的にも厳しいことから継続雇用者が不足しているのが現状です。操業現場においての世代交代は進んでいますが、技術伝承も緊急の問題となっています。熟練技能、専門知識の活用をどう伝えていくのか模索しながら進んでいますが、さらなる改善の必要があります。

2013年4月には年金受給開始年齢が61歳になります。ただちに高年齢者雇用安定法改正の運用指針にしたがい対応を経営側と協議しなければなりません。基本の方針である、「高年齢者が健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる社会の実現を目指す」ということは良いことではありますが、現状の働くしくみについての諸施策がまだまだ進んでいません。特に3直交代操業現場において高齢者の安全、健康面でのリスクが確実に高まっており、安全衛生教育を含めた対応について会社との意見交換を進めています。これからの課題は、組合員のニーズや意見を集めて分析を行い、短時間勤務制度や能力に応じた多様な選択が可能な制度づくりに向けて検討をしていくことが必要になってきます。ぜひ他労組の状況等を参考にして、現状への対応を図りながら取り組んでいきたいと考えています。